

リハビリテーション専門職の推移

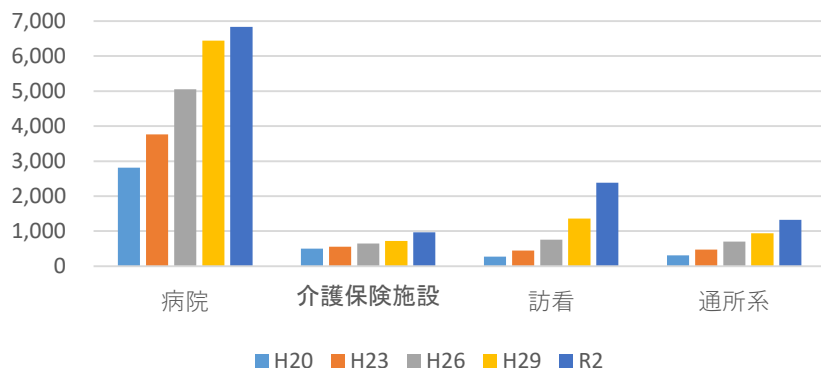
○都内におけるリハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）の従事者数はいずれも増加傾向である。

○病院については、理学療法士が、平成20年度2,809人→令和2年度6,832人と約2.4倍であり、作業療法士及び言語聴覚士も約2倍近く増加している。

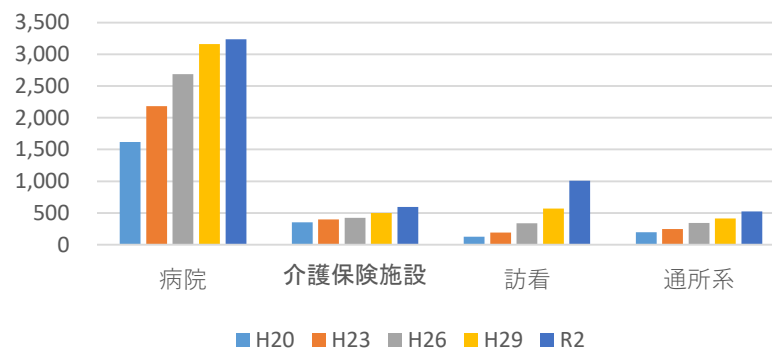
○介護事業所においては、訪問看護ステーション（訪看）の理学療法士が、平成20年度276人→令和2年度2,387人と約8.3倍を始め、介護保険施設及び通所系のいずれの職種についても増加している。

○理学療法士、作業療法士の平均年齢は概ね35歳となっており、看護師41.3歳と比較すると若い。

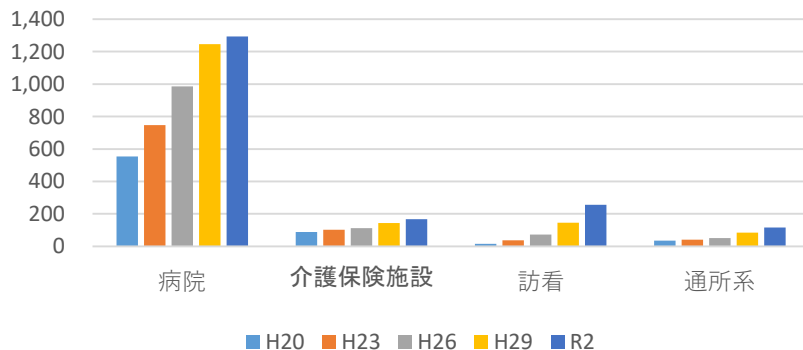
理学療法士従事者数の推移（都内）



作業療法士従事者数の推移（都内）



言語聴覚士従事者数の推移（都内）



- ・病院の従事者数（常勤換算）は「東京都の医療施設」より
- ・介護サービス施設・事業所の従事者数（常勤換算）は、厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」より
- ・理学療法士及び作業療法士の平均年齢は日本理学療法士協会、日本作業療法士協会の統計資料より
- ・看護師の平均年齢は日本看護協会の2021年調査より